

【令和2年度会計決算審査報告】

令和3年8月18日・20日に実施した決算審査について、以下のとおり報告します。

◆全課共通

- (1) 固定資産台帳は事業の継続性の確認、施設・設備等の更新優先順位や活用状況の有効性の判断に不可欠な資料であることから、作成後に提出を求める。

◆総務課

- (1) 人口減少や高齢化社会等の課題に対処するために、職員の業務に必要な資格取得や研修等への積極的な参加によりスキルアップに努めること。
- (2) 各課横断型プロジェクトチームの活性化とともに政策提言の充実を図ること。
- (3) 行政コスト把握のための貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書を作成後に提出すること。

◆企画課

- (1) 交通体系（生活バス路線）において、住民ニーズを把握するとともに、利便性拡大を合理的に行う方向性を確立すること。

◆管理課

- (1) 「公共施設等総合管理計画・個別施設計画策定業務委託」の実施にあたり、効果的なデータ作成と活用方法を検討すること。

◆税務課

- (1) 固定資産税・都市計画税滞納分の収納率に改善がみられないことから、「差押」により時効停止を行うなど、適切な処理に努めること。

◆教育委員会事務局

- (1) フィットネスジム「チアフル」の収益改善策を講じること。

◆地域整備課

- (1) 老朽危険空家対策に対し、各課横断型のプロジェクトチームを設置し、対応にあたること。

◆観光交流課

- (1) 短期移住体験住宅利用に対する有効な方策を検討すること。
- (2) 観光人材育成事業の結果を明確にすること。
- (3) 穴水町観光物産協会の「一般社団法人化」に対する課題及びその解決策を示すこと。
- (4) そば処「大仏庵」の経営状況を把握し、適正な運営支援に努めること。
- (5) 補助金交付の公益性・公平性・合理性を評価・検証すること。

穴水町代表監査委員 松岡 勤五

穴水町監査委員 浜崎 音男